

# 競 技 注 意 事 項

## 1 競技規則について

本大会は、2025年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

なお、競技規則の**競技会規則(Competition Rules)**を CR、**競技規則(Technical Rules)**を TR と表記する。

## 2 ウォームアップ場（練習会場）等について

(1) 練習は係員（競技役員）の指示により、プログラム記載の指定された会場で、「練習会場の使用について」に従い実施すること。

(2) 特に、投てき練習については、監督の付き添いのもと事故防止に努めること。

## 3 招集について

(1) 招集所は、北側スタンドの裏側に設ける。

(2) 腰ナンバー標識は招集所で受け取り、フィニッシュ後に返却すること。

(3) 招集開始時刻（点呼開始時刻）及び招集完了時刻（移動開始時刻）は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。種目別招集開始時刻・招集完了時刻は、プログラムの競技日程欄を参照のこと。

種別	招集時刻	予 選		準 決 勝 ・ 決 勝	
		招集開始	招集完了	招集開始	招集完了
トラック競技 ※下記トラック 種目除く	1～3組	30分前	15分前	30分前	15分前
	4～6組	15分前	競技開始時刻		
	7～9組	競技開始時刻	競技開始時刻15分後		
	10組以降	競技開始時刻15分後	競技開始時刻30分後		
男5000m 男3000mSC 女3000m	1組	30分前	15分前	30分前	15分前
	2組	15分前	競技開始時刻		
1500m 4×100mR 4×400mR	1～2組	30分前	15分前	30分前	15分前
	3～4組	15分前	競技開始時刻		
	5組	競技開始時刻	競技開始時刻15分後		
跳躍競技（棒高跳を除く）		*	*	60分前	45分前
棒 高 跳		*	*	75分前	60分前
投 て き 競 技		*	*	60分前	45分前
混 成 競 技		トラック競技		30分前	15分前
		フィールド競技		45分前	30分前

(4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものとして処理する。

(5) 招集の手順

(ア) 競技者は、前記(3)に示した招集開始時刻に招集所で待機し、最終確認を受けること。その際、アスリートビブス・競技用靴・衣類・持ち物等の点検を受けること。

(イ) ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器、その他外部と連絡可能な電子機器類を競技区域内で所持または使用できない。

(ウ) 招集所は、当該種目出場の競技者以外の立ち入りを禁止する。

(エ) 代理人による招集の最終確認は認めない。また、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻前までに「2種目同時出場届（招集所で配付）」を招集所に提出すること。その際、トラック競技の出場者は、腰ナンバー標識を受け取ること。当該競技でトラック競技が先に開始される場合は、トラック競技終了後ただちにフィールド種目の競技場所に移動し、担当競技役員に申し出ること。また、フィールド競技の途中でトラック競技に出場する競技者は、競技開始前、当該競技役員にその旨を申し出ること。（競技規則 TR4.3 を確認するため）

(オ)リレー種目について

- ① 「リレー・オーダー用紙」は各ラウンド前にあらかじめ招集所に取りに行くこと。
- ② 招集所で受け取った「リレー・オーダー用紙」に必要事項を記入し、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までに、競技者係（招集所）に提出すること。  
また、決勝においても、予選に準じて招集完了時刻の1時間前までに提出すること。  
なお、一度提出した「リレー・オーダー用紙」は、主催者が任命した医務員等の判断がない限り、差換えは認められない（競技規則 TR24.11）。医務員等の判断による変更は出場競技者の変更のみ認められ、編成（走る順番）の変更は認められない。

(カ) 出場種目を欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所に提出すること。

(キ) 混成競技の招集は、第1日及び第2日の最初の種目については、前記の招集時刻一覧表のとおり招集所（北側スタンドの裏側）で行う。2種目以降は、混成競技者控室（男：男子更衣室 / 女：会議室3・4）で確認を受け、当該競技役員の指示に従うこと。

(6) 提出書類は、下記のとおりとする。

	書類の種類	提出先	提出時刻
1	欠場届	招集所競技者係	招集開始時刻まで
2	2種目同時出場届	招集所競技者係	第1種目の招集開始時刻まで
3	リレー・オーダー用紙	招集所競技者係	各種目第1組目の招集完了時刻の1時間前まで
4	棒高跳アップライト申告書	招集所競技者係	招集開始時刻まで
5	上訴申立書	TIC	随時
6	記録証交付願	TIC	随時

#### 4 競技について

(1) 当該種目出場競技者以外は、スタジアム内に立ち入ることができない。

(2) 警告について

- ① WA 競技規則 CR18.5 の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19、に違反があった競技者やリレーチームに YC(イエローカード)を提示し警告を与える。

(3) 助力について（競技規則 TR6）

- ① 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない（競技規則 TR25.19, TR6.4）。
- ② ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技区域内に持ち込んで서는ならない。
- ③ 助言は、競技運営ならびに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で、コーチングエリア(コーチ席)に限り認め、映像を見せることはできる。映像機器の手渡しについては、ルール通り可能とする。

#### < トラック競技 >

(4) 短距離種目では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。

(5) トラック競技は、800m以下の種目及びリレー種目の予選を2～9レーンで実施する。

決勝は2レーンより使用する。ただし、種目によっては1～9レーンで実施する。

(6) トラック競技では、すべて写真判定システムによる全自動計時（電気計時）を使用する。

(7) 競技規則 TR16.8 により、混成競技を除いて、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。混成競技のトラック種目においては、1レースで一度目は不正スタートの責任がある競技者は失格とならないが、そのレースで2度目以降の不正スタートの責任がある競技者は失格とする（競技規則 TR16.8, TR39.9.3）。

(8) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても本競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても、出場するメンバーのうち少なくとも2人は当該リレー種目に申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り他の競技者と交代することができる。また、リレー競技においては、チームの出場者は同一のユニフォームを着用する。

- (9) 4×100mリレーの第2・第3・第4走者は、マーカー（1カ所）を使用することができる。マーカーは各チームで用意し、レース終了後に取り除くこと。
- (10) 4×400mリレーの第3・第4走者は、審判員の指示に従い、前走者が第2曲走路入口（200mスタート地点）を通過した順序（コーナートップ通過順）に、内側より並び待機する。その後、待機している走者は、この順序を維持しなくてはならず、バトンを受け取るまで入れ替わることは認められない。
- (11) すべてのバトンパスにおいては、テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、そのゾーンの中でスタートしなければならない。
- (12) 3000m、5000mは、グループスタートで実施する。

### < フィールド競技 >

- (13) 走高跳を除く跳躍種目およびやり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、走高跳競技に出場する競技者は、助走路内に各自が用意したマーカーを2個まで置くことができる。サークルから行う投てき競技では、マーカーを1個だけ使用することができる。そのマーカーは、サークルの直後あるいはサークルに接して置くこと。
- (14) フィールド競技の試技時間は、競技規則TR25.17のとおりとする。
- (15) 棒高跳の競技者は、「アップライト申告書」を招集所で受け取り、自分の希望する支柱（アップライト）の位置を記入し、招集所に提出すること。提出された「アップライト申告書」は、招集所の担当競技役員が現地まで持っていく。また、その位置を変更したい時は、当該競技役員に申し出ること。
- (16) 走高跳と棒高跳において順位決定を必要とする場合、ジャンプオフを実施する。ただし、ジャンプオフは順位決定のための特別な試技であるため、公認記録ではあるが、今大会の公式記録にはならない。  
(競技規則 TR26.8)。
- (17) 三段跳の踏切板は、砂場から男子12m・10m、女子10m・9mの地点に設置する。
- (18) フィールド競技の公式練習は、2回とする。
- (19) 投てき競技の計測は、科学計測装置を使用する。ただし、砲丸投についてはメジャー計測とする。

### 5 抗議と上訴について (TR8による)

- (1) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、当該競技者の監督により、その種目の結果が正式発表されてから30分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内）に、TIC（山形県総合運動公園周辺図 参照）を通じて、審判長に対して口頭でなされなければならない。抗議者は総務員に申し出ること。  
なお、正式発表の時刻とは、大型スクリーン表示終了時刻とする。
- (2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定するが、審判長裁定を不服としてさらに上訴する場合は、当該競技者の監督により、「上訴申立書」（TICで配付）に必要事項を記入し、預託金10,000円を添えて、TICに申し出ること。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は、没収される。

### 6 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブス（ビブス）は配付された形のものをユニフォームの胸部と背部につけること。折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、跳躍競技の競技者は、胸部または背部につけるだけでもよい。  
また、トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、下半身の横（右後方）につけること。ただし、2000m以上の長距離は左右後方、リレー競技については、4×100mリレーは第4走者のみ、4×400mリレーは第2・3・4走者が左右後方につけること。
- (2) 特別アスリートビブス（3000m以上の長距離、競歩）は、招集所で配付する（背部はプログラム記載のアスリートビブス）。競技開始時刻1時間前までに招集所に受け取りに来ること。その際、正規のアスリートビブスを持参すること
- (3) 男女とも、混成競技の最終種目では、総合順位（現時点）の上位者から順番に、統一した別ビブス（胸部のみ）を使用する（背部はプログラム記載のアスリートビブス）。別ビブスは混成競技係より配付する。

## 7 スタジアムの中に商品名のついた衣類・バッグを持ち込む場合について

- (1) 日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規程」を適用する。  
その規程及びプログラム記載の「競技場内における広告・展示物等の規則について」にあるとおり、それに示すサイズを超えてはならない。
- (2) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

## 8 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1) トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。
- (2) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及び走路順については、主催者がルールに則り組み合わせ、レーン順を決定する。  
トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びレーン順は、プログラム掲載のQRコードを読み取って、競技会速報ウェブサイトを確認すること。
- (3) トラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最後の1枠に同成績者が出たとき（以下、同成績者という）は、下記の方法で決定する。
  - (ア) 800m以下の場合、写真判定員主任が0.001秒単位の実時間を考慮して出場者を決定する。それでも同じでレーンが不足する時は、同成績者または代理人によって抽選する。
  - (イ) 1500m、5000mの同成績者は、次のラウンドに進むことができる。

## 9 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外、全て主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、やり（スタジアムに備えていない投てき用具）は、当日検査の上使用を認める。希望者は招集開始時刻30分前から招集開始時刻までに、TICに（混成競技は競技開始の60分前までに、混成競技係に）申し出ること。なお、借り上げた用具が破損しても責任を負わない。
- (2) 練習用の個人の用具は、スタジアム内に持ち込んではいない。

## 10 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

	練習	1	2	3	4	5	以降
男子走高跳	1m50～	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	以降3cm
女子走高跳	1m25～	1m30	1m35	1m40	1m45	以降3cm	
男子棒高跳	2m70～	2m80	3m00	3m20	3m30	3m40	以降10cm
女子棒高跳	1m90～	2m00	2m10	2m20	2m30	以降10cm	

天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。

- (1) 走高跳・棒高跳で最後の一人になり第1位が決定するまで上記の上げ方とする。
- (2) 第1位が同成績の場合における順位決定のバーの上げ下げの幅は、走高跳で2cm、棒高跳で5cmとする。
- (3) 混成競技の走高跳のバーの上げ方は、次のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5	以降
男子八種走高跳	1m25 1m60	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以降3cm
女子七種走高跳	1m10 1m35	1m15	1m20	1m25	1m30	以降3cm	

## 11 予選通過標準記録について

	種目	試技数	標準記録
男子	走幅跳	3回まで	6m00
男子	やり投	3回まで	40m00

- (1) 天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。
- (2) 予選通過標準記録を超えた競技者が12名に満たなかった場合は、上位12名まで決勝に進出させる。12番目に同記録の競技者がいた場合は、下記の方法で決定する。(競技規則 TR25.12)
  - ・同記録となった競技者の2番目の記録で順位を決める。それでも決められない時は、3番目の記録で順位を決める。

## 12 スタジアムへの入退場について

競技者の入場及び退場は、当該競技役員の指示に従うこと。

## 13 表彰について

- (1) 各種目の表彰は、1位から3位まで行う。
- (2) 各種目1位から3位の競技者は、競技終了後ただちに、スタジアム内1階エレベーター前に集合し、競技役員の指示に従うこと。また、競技者は、Tシャツまたはジャージを着用すること。

## 14 東北大会の申し込み手続きについて

決勝の上位4名(ただし走高跳・棒高跳はそれぞれ4位4名)は、東北高等学校新人陸上競技選手権大会への出場権を得るので、本部で申し込み手続きを行うこと。

ただし、混成競技のみ上位3名までとする。

出場を確認する掲示板を毎日準備するので、日ごとに監督が確認し、出場する場合は○印を、出場を辞退する場合は×をつけること(辞退者が出た種目は下位者を繰り上げる)。

なお、印のついていない場合は出場を辞退するものとみなす。

## 15 次年度の県高校総体への出場権について

決勝の上位8名(リレーを除く)は、次年度の県高校総体への出場権を得る。

ただし、決勝レース(試技)を欠場、または、本人がその種目の出場を辞退する場合は、当該地区での枠を有する。

## 16 その他

- (1) 大会2日目9/5(金)・3日目6(土)は、スタジアム内の男子更衣室は混成競技控室となるため、使用できない。更衣する場合は、体育館メインアリーナ更衣室を使用すること
- (2) 大会期間中にスタジアムで発生した傷害や疾病は、スタジアム内の救護室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (3) 記録証の交付を希望する競技者は、記録証交付願を記入して、交付料金500円を添えてTICに申し込むこと。
- (4) 届けられた遺失物はTICで保管するが、体液が付着しやすいもの(衣類、水筒等)は、その日のうちに廃棄する。

- (5) 記録（リザルト）は、QRコードを読み取って、競技会の速報ウェブサイトで確認できる。
- (6) 各校のテント・横断幕・幟(のぼり)の設置などについては、別ページの「陸上競技関係施設利用留意事項」のとおりとする。
- (7) 盗難等がないように、持ち物および貴重品の管理には十分に注意すること。
- (8) 観戦・応援について
- (ア) 競技の妨げとなるような応援は、場所の移動や中止を要請することもあるので、指示に従うこと。
  - (イ) 集団応援は、サイド・バックスタンドの中段より上に限定する。メインスタンドは禁止する。
  - (ウ) スタンド通路での立ち見はしないこと。
- (9) 個人情報の取り扱いに関して
- (ア) 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用することはない。
  - (イ) 参加申込書の提出により、上記（ア）の取り扱いに承諾を得たものとみなし、氏名・学校名・学年・県名・記録の紹介や競技会速報ウェブサイトへ掲載し、本大会が認めた報道機関にも公表する。
  - (ウ) 本大会が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・雑誌・大会報告書・ホームページ等で公開されることがある。
- (10) 競技者が安心して競技に専念できるように、カメラ撮影禁止エリアを設ける。盗撮行為が疑われるような「迷惑行為」防止に向け、撮影者に対しては、本大会役員より撮影内容を確認される場合がある。

---

『競技会における広告および展示物に関する規定』

**競技会における広告および  
展示物に関する規定 2025.4.1**  
※詳細は右のQRコードよりご確認ください



衣類及びアクセサリ等  
ガイドライン